NPO(JD)・に関する

20241021　※のびはのです。

１.をまえたについて

によるなどの39がをえていたについて、73、は、「はからである」とじました。930に・、のをめざす（）ととので「」がされ、「にづくをけたに対するのに関する」（）がするみとなりました。しかし、のはこれからであり、としてへのい、さらにのあり方についてのえをおえください。

のから、すべきとえる２つに○をけてください(１つでもよい）。

1. 、、ととので、に関するなのをけ、すべてのへのと、したびなど、じちをさないためになやをすべきである。
2. をさないために、とパリにったをすべきである。

③にするにづくをするために、のあるのをき、としてなにめるべきである。

●その他、お気づきのことがあればにしてください(300）。

◆

①、③

たなに関するがしたことをけて、でのに対する・について、とし、へのにみます。

また、がめられた・をするとともに、のやののについて、をめます。

◆の

107にがでされ「によって・のをう」とされました。のからまで76かかりましたが、「のをしてもとはえないである」というがったがなぜ、されるまで50くもできなかったのか。まで20かかったか。それらものをえざるをません。のをうだからこそ、にえをするがあり、ちがあればめるがです。しっかりとをい、とのがしないようにをし、やをするに対するあらゆるとをしてゆくです。

◆

①、③

ので、くのがにけられたなやに対し、としてこのちをくするとともに、のによりくお詫びをげます。はのをまえ、もいのをるとともにやをしていくです。

◆

にづき、くのが、ったの、のやをすることをに、をにする、をけることをいられて、をみてるかかについてらをするをわれ、にわたりいとをけてまいりました。

のにおいて、のはにするものであり、にるのはであるとされ、のがめられました。このようなをとすことのないように、あらゆるとをし、やによってけてられることなくがされるをすべく、をくします。

◆

①、③

どもをってはいけないとをけ、くをいられたすべてのたちにもく・をできるようめます。にもとづくとのに、もをつくします。

◆れいわ

①、③

　ばいでは、とのにづき、からなるがいがされ、・がをめるがいで、、、がされました。このにい、にづく・のにむけたおよびのに関して、がした「に対するやのないのにけた」のに、、、などの、、からなる「」をけてすることがえられます。

◆

①、②

73のをけて、108のにて「」がしました。によりをけただけではなく、に対してもがされます。また、は、にづくなどにするをうとともに、これらがわれたびのをうとしています。のはのびにけてきくしました。しかしながら、のにはにもとづくとがまだまだします。とこのようなをさないためにも、とをやかにんでいくべきだとえます。

２．ならびにについて

2011のでは、のあるのはのないの2だった、とのもあります。の、さらに9のと、のはであり、されたのはのいたとわざるをえません。のあるやのはさらにしいにいやられています。ののもきく、がいつ、どこできるかのはです。があるにとっての･のためのにもがめられています。にするならびにについて、のえをおえください。

のから、すべきとえるつに○をけてください（１つでもよい）。

1. のあるにとってはまでくことにもがあり、まずは、までのアクセシビリティをめるをめるべきである。
2. はのあるにとってしにくいがく、もしつつ、やのにされたで、してらせるためのをめるべきである。
3. にえて、のあるがのとにをい、のをえたにめるべきである。

④「」のにめ、なやについてのとともにすべきである。

●その他、お気づきのことなどあればにしてください(300）。

◆

③、④

は、もされることのない「インクルーシブ」なをし、、、、、がいのなどにかかわらず、てののがして、の・、の・、のなどをうのをつくるべきだとえています。また、、がいなどごとのをにしていきます。

◆の

②、④

でとってものやによってのはきくわるため、「」のためのではをるためにではありません。「その」をえた（もむ）をよりきめ細かくえておくがあります。また、のようにがくのがきやすいケースと、のようにけになってくれるがそもそもないによってもはわってきます。いずれにしてものはとりにけるのではなく、やケアシステムともした、でるをさせていくがあり、そのためにはがにをめるのではなく、になやをし、ニアイズベターのをすることがであるとえます。

◆

②、④

にやがいなどのがされないよう、ひとりにわせたの「」のや、にはからまでのないをする「ケースマネジメント」をします。また、のサービスをあらかじめできるよう、にをします。にとなるやについては、をしたトイレの、バリアフリートイレやスロープ、エレベーターの、にしたバリアフリーをします。

◆

ハードのにはがかかるもあり、デジタルなどもでめるべきです。また、③、④もであり、にのとハザードマップをしたり、なやについて、ともにえるをつこともとえます。

◆

②、④

のとに対するのは「のの」にとどまっています。はやマニュアルのをまかせにするのではなく、とのをし、のでなをおこなうようすべきです。そのに、などもしっかりづけます。

◆れいわ

③、④

　にきたでは、・・・におけるは5、にはくののがおられ、「はももニーズがなばかり。どこのもしている」でした。つまり、がむでがきれば、のでなのをれるしかない。のをバリアフリーし、・をするなど、もさないインクルーシブのをしていくがあります。そのためにも、となるのバリアフリーをめ、のをもができるユニバーサルなとしてすることがとえます。

◆

③、④

の、をけるいはがよりいというデータがあります。のを・し、・をすることがです。その、・などがすることがだとえます。・・・でからをいておくことがです。

３．のあるのについて

やのをまえ、「があるのについてをくことはである」とのにち、はさまざまなをけています。やでもがされていますが、はきく、マニュアルとがめられます。のをに、さらなるをめざしたいとえます。すべてののあるがをするためにどのようながめられるか、のえをおえください。

のから、すべきとえる２つに〇をけてください（１つでもよい）。

①はてののなにするとともに、の、いすトイレのなど、バリアフリーのにむべきである。

②は、、、、かりいのなど、のあるにがにくことをすべきである。

③はがされており、するてののあるをにするとともに、きのをすすめるべきである

④、のはにねられているが、てのなどに、ので・をし、をすべきである。

●その他、お気づきのことなどあればにしてください(300）。

◆

①、③

・をがいなどのためしにくいさんが、がいのにかかわらず、に関するをたり、にできたり、したりできるをえるがあります。がいのをしていくために、にみます。

◆の

①、②

のは「へのの」と「にするのな」であるとえます。のバリアフリーはもとより、にくことがしいや、がしいなどへのをし、に対するのみならず、をくこともです。また、がいのになアクセスやコミュニケーションの、デジタル・ディバイド（）のため、サービスをとしてのをり、にをとしてめるのをします。

◆

①、③

までのがく、がない、がいがしやすいよう、や、コンビニにをするとともに、・の、の、インターネットのをします。あわせて、のがしてもがされるようをめます。

◆

がいやのとしてののため、のやのバリアフリー、・・によるやとしてのチェックによるについてのにみます。また、インターネットのにより、すべてのがよりしやすいづくりをめます。

◆

①、④

は、、のがりがされるなどとされており、ならの、きめ細かながです。ののでもがりにされないよう、をくめていきます。

◆れいわ

①、②

②、④もにでなかなかぶのはしいです。

ではがめられるようになりましたが、でのの、ヘルパーのがめられず、の（）でなければならないというのはらかにで、のにすべきとえます。

◆

②、④

すべてのをつけずにむべきだとえます。すべてのがなくできることやへアクセスできるをにするべきだとえます。

４．のあり方について

のあるのについては、のがにくいことやがでないことなどにより、をることにもがあり、「」とわざるをえないにあるというもされています。として、にせざるをえない、をするしかない、といったにかれているもくしています。このようなをするためののあり方について、のえをおえください。

のから、すべきとえる２つに○をけてください（１つでもよい）。

1. にしてしたをられるよう、のをすべきである。
2. など、をめた「」に対するをすべきである。
3. のにをけ、とあわせてできるをすべきである。

④のやなど、のなをすべきである。

1. をめるの「」そのものをすべきである。

●その他、お気づきのことなどあればにしてください(300）。

◆

①、③

のへのをめるため、のにづくのをし、すでにでのあるなののや、あるをできるのをします。におけるのにけたみをめるとともに、がのみをとしてビジネスをしないように・します。におけるへのをり、へののをめ、なのやへのなどなみをします。がいのらしをえるのとのげをします。

◆の

①、④

ロボットなどのテクノロジーや、ののをじ、・・のがいにとらわれないがいのをします。また、ポストコロナにおけるきにみ、がいについてもだけでなくテレワーク（）でえるよう、サービスをできるとICTをします。

また、はにをるというにまらず、とのつながりや、のつというをむためにもにであり、をにをめることはあってはならないとえます。で、そうしたに対するなをにめることにはがあり、きがいとしてのと、にった、そしてをうための（きやベーシックインカム）をわせることによってのののをるべきとえます。

◆

①、④

がいのをするで、はなをたしています。これまでは、がいのをするみや、のなどをしてきました。201910からは、がされています。さらに、のやをめたがいののを通じて、のとのをしていきます。

◆

④

◆

②、④

ののにけてでのこともにあがっていますが、なになるいをめます。・では「」のにもとづいてすることがです。

◆れいわ

④

れいわは、として「」をし、、のをえることをにれています。

また、として、「（B）」のでく（）ののため、もとにをし、イタリアの、のような、・ではないのきへの・のをすることをにれています。

◆

④、⑤

がにせず、したができるをすることがだとえます。そのためにも、がでをてられるようのがです。で、のやなどでがしいや、していてもがでないがにせずができるように、のなどもせてめるべきだとえます。

５．のあり方について

ののへの「」でも、やなどのがしくされ、とともにへのがくめられました。また、はよりやがないがめられており、のとのがじています。また、のがこの10で2になっているもあり、のについてはくのがされました。また、による「」などのもされ、の、のあり方にはでくのがされています。このようなについて、のえをおえください。

のから、すべきとえる２つに○をけてください（１つでもよい）。

1. のにつながるやについて、なをすべきである。
2. にもつながるなのをし、をしないをすべきである。
3. にのに対し、などのやピアサポーターとをき、がらのをできるをすべきである。
4. のやサービスなど、にらなくともでらせるシステムをすべきである。

⑤にい・をするためののあり方についてのもながらし、してすることがめられる。

●その他、お気づきのことなどあればにしてください(300）。

◆

①、④

によるやそのへののをさせ、でしたができるよう、からへのをします。になのについては、とともにしながらします。また、のをるため、でののをめます。がやのをしないに、のがにわれ、がすることのないよう、なをじます。

◆の

③、⑤

がいがしてでらせるようになるためには、まずにのがです。をし、サポートしてくれるをえていくことが、や、にとっても「さない」なをくことにつながります。そうしたはでできるものではないため、ずはをったサポートスタッフや、ピアサポーターのをりつつ、や、・・などのなどへをげ、にのをげていくことがとえます。

◆

③、④

がいのあるがでしてらしくらせるように、、がい・、まい、の、のい、・がにされた「がいにもしたケアシステム」のをします。については、もがしてできるがされるように、をにするためのみのや、からへの・にけた・の、よりののなどについて、かつなをするがあります。また、のがられないののに関し、のをめ、なしについてしていくことがであるとえます。

◆

なし

がい、がい、がいののへのをし、ともにしながらがいをめます。にしたのなど、のをします。

◆

①、②

のもとにも、でしんでいるがたくさんけられています。は650いるとされており、、、でも、ケアをにする、かれた、がにめられています。

◆れいわ

②、④

には、①，③もとえています。

そので、にをないのさとをするためには、のの9がで、をげなければがたないをえるがあるとえます。

をってにのをらすとともに、ったののをがし、スタッフのをしての・のアウトリーチにすなどのみをけ、に・とをサービスにすべきとえます。

◆

①、④

のやをするやはしいでありです。で、やではなく、またにさせないでをるためには、がです。、アパートのげのや、グループホームのなどのなどがです。せて、の、のサポート、カウンセリング、のえをしのをします。

６．マイナンバーカードの（「マイナ」）について

のあるにとって、はがないにきなです。をするにあたり、はなをたしています。、はのマイナンバーカードをとした「マイナ」のをしています。122に、のを（）するです。のあるにとって、マイナンバーカードの・にはさまざまながですが、そのようなやはなされていません。カードがというもく、できてもやののハードルがあり、のをしてほしいというがあります。また、マイナにはがあり、きをしなければとなるというきなもがっています。こうしたがされているマイナについて、のえをおえください。

のから、すべきとえる２つに〇をけてください（１つでもよい）。

1. り122にのをし、マイナへのをすすめるべきである。
2. ののはするが、マイナへののにめるべきである。
3. ののをし、しばらくのはマイナとさせるべきである。
4. のあるやがしてできるまで、のをすべきである。
5. ののをし、もとマイナをさせていくべきである。

●その他、お気づきのことなどあればにしてください(300）。

◆

③、④

のをし、の、もがなときに、ながけられるをするために、202412ののをし、のなどのがうまでは、のをさせるべきです。でマイナンバーカードやをできないとのががっていることなどをまえ、がいやなどニーズがいがされないようにすべきです。

◆の

①

マイナはとDXのとなるものであり、しける（47）のびをし、をさせるためにもにです。カルテのによってやをしつつ、なににげるなど、のとのをします。

◆

②

マイナンバーカードについて、やがいのにしたで、・わず、カードのシーンをするとともに、マイナンバーカードのについては、のをきくみやすくするなどデザインをし、セキュリティのなるをります。さまざまなでマイナをたないのためのについては、のにより、がなくてもプッシュですることになったこともまえ、ののも、もがしてがにけられるようなをります。

◆

なし

のマイナンバーでめられた・・の3ののはへのなとをることをに、の、の、ののがめられるのみをとします。

◆

⑤

マイナンバーカードのはであり、はそもそもマイナンバーそのもののをめています。のがそこなわれるのはすべきです。

◆れいわ

⑤

マイナのとしてされている「・にづくよりい」ですが、マイナはカルテやのとはづいておらず、マイナでよりいがけられるわけではありません。むしろ、のによれば、マイナやオンラインについて、7のでカードリーダーのエラーのトラブルがあったそうです。のなデジタルは、かえってをさせ、のをしています。のでのもないのに、マイナにしたり、をしてへするのではなく、のでマイナとをべるようにすべきです。

◆

④、⑤

「マイナ」はトラブルがしており、のでまったくありません。また、にはな「」がされることとなっており、のはずのマイナンバーカードのです。のをすべきです。

７．ののについて

　ので、にあたりもえたいことはでしょうか。におきください。また、やホームページなどでされているのURLなどをおえください。

◆

がいのあるのニーズをまえ、がいや、、をわず、だけにらずに、がいのないとともにし、してでしたができるよう、がいサービスにおけるをはじめみづくりや、にみます。

※び2024のHPは、です。

◆の

においてはいつがこるかわからない。えてではによるもさをしている。があるのをまもるためのやについてはののにじてきめ細かくしていくことがであり、そのためのとをにするがである。ニアイズベターのによってのあるもないも、てのがかにらせるにじたづくりをしていく。

◆

　もがしてらせできるをするため、にづく、によるののをまえたののみのをはじめ、にまれたさまざまながいをに・します。また、にじて、がいをしつつ、、などののをいます。

　がいやに対する、してきがいをってらせるの、ハード・ソフトにわたるバリアフリー、がいのアクセスの、がいのあるどもへのかつな・やインクルーシブの、がいのへの・、スポーツなど、きめ細かいをします。

　あわせて、となる2025デフリンピックのにけて、ろうあやとにし、にけた・のをるとともに、なをいます。

　のホームページ（https://www.komei.or.jp）において、がいをめ、をしています。

◆

がい・がれたでしてしたがれるよう、「」ののあるをめざします。がいのなどにかかわらず、じでともにび、く「インクルーシブ・」をします。さらに、のにとらわれないたな・のをします。

◆

　によるはのであり、でとされました。にもとづくをします。したしいのもとで、てのにをし、をします。のをし、によるとのための・を

めます。

　のはをなくしにします。のはてとしてもづけます。をなくしながいたまい、び、、、などをします。

　のを・にげて、をえるケアワーカー・にからしをすすめます。

　やのがなをし、をします。、、でもへのなケアをめます。

　はのホームページより28「・・」、29「」をごください。

◆れいわ

3をするれいわは、「たちに関することはたちなしにもめるな！」をのとしています。マニフェストでに関してえていることは、①のでけてられることなくにち、ぶインクルーシブ・へする。②をってにをし、、のをらす。とはなくす。③サービスの・・でのをなくし、でらしけられるシームレスなにする。④65のに対するはなくす。です。

それのに関しては、れいわのをごください。

<https://reiwa-shinsengumi.com/policy/#%E9%9A%9C%E5%AE%B3%E3%83%BB%E5%85%B1%E7%94%9F>

◆

ののやのをのまですること。のをでるをしません。だれもができるインクルーシブなをめざします。

「から―がむ5つの」

<https://sdp.or.jp/policies/#%EF%BC%91%E3%80%81%E5%8C%BB%E7%99%82%E3%83%BB%E4%BF%9D%E5%81%A5%E3%83%BB%E4%BB%8B%E8%AD%B7%E3%83%BB%E7%A6%8F%E7%A5%89>

（はHPのPDFをごください。）